情報公開文書（複数施設研究用）

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2026 年 7 月 29 日（第 1 版）

承認番号	26085
課題名	DPC データおよび診療情報を用いた流行性ウイルス感染症の病棟別院内発生リスク評価と予測モデル開発に向けた基礎検討
研究期間	実施許可日 ～　2028 年　　3 月　　31 日
研究の対象	2023 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに，旭川医科大学病院または医療法人社団慶友会吉田病院に入院した患者さんを対象とする.
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：患者情報は，生年月日，性別，入院日，退院日，診療科，主病名，入院時 ADL，退院時 ADL，末梢静脈栄養，中心静脈栄養，経管栄養，嚥下障害の有無などを収集する.） □手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：　　） □血液 □その他（　　）
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学　学長　西川　祐司
外部への試料・情報提供	■自施設のみで利用 □多施設共同研究グループ内（提供先：　　）（提供方法：　　） □海外へ提供（国名：　　）（個人情報保護に関する制度の有無：　　） （提供方法：　　） □その他（提供先：　　）（提供方法：　　） ■利用/提供予定日：(実施許可日から)
研究組織	○研究代表機関：研究代表者 機関名：旭川医科大学病院 感染制御部・助教　梅影　泰寛 ○共同研究機関 機関名：医療法人社団慶友会吉田病院 研究責任者：最高顧問　大崎　能伸
研究の意義、目的	新型コロナウイルス感染症やインフルエンザは、地域で流行すると、入院時や面会、職員の出入りなどを通じて病院内に持ち込まれ、院内感染や集団発生につながることがあります。特に入院中の患者さんは、高齢であること、基礎疾患があること、日常生活で介助を必要とすること、栄養状態、受けている治療や処置などによって、感染した場合に重症化する可能性があります。また、院内感染が発生すると、患者さんの治療や検査が遅れたり、病床の使用が制限されたりするなど、病院全体の診療にも影響することがあります。

	一方で、どのような病棟で院内感染が起こりやすいのかについて、入院している患者さんの年齢や病気、日常生活で必要な介助の程度、栄養管理の状況、病床の利用状況、平均的な入院期間などを含めて検討した研究は、まだ十分ではありません。 この研究では、入院患者さんの年齢、病名、治療内容、入退院日などが記録されたDPCデータや診療情報、地域における感染症の流行状況を用いて、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの院内感染が起こりやすい病棟の特徴を調べます。 これにより、院内感染の発生に関係する要因を明らかにし、将来、感染リスクの高い病棟を早めに把握して、より効果的な感染対策を行うための基礎資料とすることを目的としています。
研究の方法	この研究は、すでに診療のために記録されている情報を用いて行う「後ろ向き研究」です。研究のために新たな検査、診察、採血、アンケートなどを行うことはありません。診療記録や病院で保管されている情報から、次のような情報を収集します。患者さんに関する情報として、年齢、性別、入院日、退院日、入院した病棟、主な病気や治療内容、入院時および退院時の日常生活動作の状態、点滴や経管栄養などの栄養管理の状況、嚥下障害の有無などを調べます。病棟に関する情報として、病床数、個室の割合、病床の利用状況、平均的な入院期間、入院患者数などを調べます。
その他	
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 医療法人社団慶友会吉田病院 最高顧問　大崎能伸 電話番号：0166-25-1115 研究代表者・研究責任者： 旭川医科大学病院 感染制御部　梅影泰寛 電話番号：0166-69-3211